

愛道

第95号

発行・平成20年1月1日

社会福祉法人 足羽福祉会



今号のテーマ 「創造」

- ・ 新年を迎えて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2ページ
- ・ あいさつから創られるもの(足羽東保育園)・・・・・・・・・・3ページ
- ・ つくる楽しみ・できる喜びー慣れ親しんだ畑仕事ー(足羽利生苑)・・4ページ
- ・ 地域でいきいき活動しようー地域活動支援センターあすわー(足羽ワークセンター)・・5ページ
- ・ 自信へつながらる介護ー思いに耳をかたむけてー(愛全園)・・6ページ
- ・ 心と心のかけはし(足羽学園)・・・・・・・・・・・・・・・・・・7ページ
- ・ 「羽生の郷」～地域に出て働こう～(足羽更生園)・・・・・・8・9ページ

新春を迎え、暖かな
日差しを受けて…桜
並木の坂は気持ちの
良い散歩道です。

(足羽更生園)

不安の多い福祉の世界で

評価されるサービスを

― 地域に開かれた施設運営を目指して ―

社会福祉法人 足羽福祉会 理事長 高村 利幸



長寿を祝う会にて米寿を迎えられた方と

新年あけましておめでとう

ございます。昨年も政治・経済および社会においてさまざまな出来事がありました。能登半島や新潟での大地震、夏の異常気象といった「天災」もさることながら、偽装請負による不正流用、不正経理操作、また食品会社による賞味期限改ざんなど、一般企業のコンプライアンス（法令順守）違反といった「人災」によって、私たち国民生活はいっそう不安を助長され、まさに「何を信じてよいのか分からない」状態になっています。

う厳しくなっています。こうした社会全体に渡る信用失墜の状況に対し、私たち社会福祉法人ができることは何かと自問しますと、答えの一つとして「情報公開」があると思います。従来の福祉サービスにおいて、我々は「利用者のため」「利用者の立場で」という言葉を使いながらも、それが本当に行われているかという「評価」を受けずにきました。しかし、社会の中のさまざまな「評価」「格付け」の波はすでに福祉事業の世界にも押し寄せてきています。措置から契約に変わり、利用者が利用料を支払う一方で、サービスに対してその内容や質を求めるのは当然です。こうした背景の中、超高齢化・少子化社会に求められる利用

者選択の一助として、福井県社会福祉協議会を中心に「第三者評価サービス」が導入されました。

私たちのサービスの基本は「人」です。物を売って対価を得る「商い」ではありません。サービスにおいては介護、支援、保育がどれだけの確に行われるかが大事で、職員の仕事の質や人間性・コミュニケーションが大切にされます。また、利用者へのサービスを継続して行えるだけの組織体制や運営管理の手法、基本方針がしっかりと定まっていなければなりません。そうした内容について「第三者評価サービス」では利害関係の薄い第三者機関が細かく評価をします。一定の基準で客観的に、しかも利用者の立場から評価

をするのです。この結果はインターネットで公表されますので、世界中で閲覧が可能です。施設の良し悪しそのものが情報公開されるのです。

当法人では足羽東保育園がまず昨年十一月にこの「第三者評価サービス」を受審しました。続いて愛全園が今年中に評価を受ける予定です。他の施設も準備に取りかかっています。まだ福井県内でこの「評価」を受けている事業所はほとんどありませんが、私たちはあえてこの制度を積極的に受けていきます。大切なのは、よい評価をもらうことだけでなく、明らかにした課題を解決していくプロセスを通して、私たちが常に良いサービスを心がける姿勢を継続していくことだと考えるか

らです。

「評価」においては、利用者やご家族からもアンケートなどでご意見を頂くなど、ご協力を頂くことがあります。どうか率直なご意見をお願い致します。また、受審時期や結果につきましては、各事業所よりご案内申し上げますので、今しばらくお待ちください。

法人の理念にある「地域に開かれた、地域に信頼される福祉」という言葉にもあるように、まず私たちのサービスの状況およびその評価を皆さまで公開してこそ、皆さまから信頼される福祉につながるかと信じて、今年も誠心誠意取り組み参ります。どうか御支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

あいさつから つくられるもの

足羽東保育園では「明るく元気な保育園」を創っていくために「あいさつ」を大切にしています。毎日、「明るく、元気な、正しいあいさつ」を職員と子どもたちが一緒に取り組んでいます。今回は、園生活の中のあいさつについてお伝えします。

みんなで「さようなら」



降園前は「さようなら」の歌を大合唱します。「先生さようなら。皆さんさようなら」と職員や友達同士ニコニコの顔を見合わせながら明日につなげています。

日々、職員が頭を下げ、丁寧にあいさつする様子を見て、子どもたちも少しずつ丁寧なあいさつができるようになってきました。年齢の小さい子どもも大きなクラスの子のあいさつを見て、頭を下げたり、廊下ですれ違う職員にも丁寧にあいさつができるようになってきました。

このように当園では一日の中で、いろんな場面であいさつが交わされています。その度にお互いの心が通じ合い明るく元気なエネルギーが生み出されています。一人ひとりの子どもと職員のあいさつや、子ども同士でのあいさつ、また、みんなでするあいさつから、明るく元気な保育園が創られていきます。また、保護者の方からも『明るい保育園ですね』と、うれしい言葉を頂いています。

子どもにとって大切な環境である「和やかで温かい家庭」を創っていくことも、一言の明るく元気なあいさつから始まっていくのだと思います。日常生活において、いつでもどこでも心のこもったあいさつを大切にしていきたいですね。

たのしい給食

待ち遠しい給食の時間は、あいさつの声も一段と大きくなります。「今日のお当番です。がんばります」「お願いします」と、子ども同士気持ちを言葉にして言っており、「いただきます」「ごちそうさま」もみんなに聞こえるような声であいさつしています。また、子どもや保育士は給食の先生に「おいしかった。ありがとう」など、毎日感謝の気持ちを伝え合っています。

まだ十分に言葉に出せない子ども、保育士のあいさつに合わせてかわいいしぐさで表現しています。



元気な朝のあいさつ



「おはようございます」と元気いっぱいの子どもたち「〇〇ちゃん、おはようございます」明るい笑顔と大きな声であいさつを交わす園児と保育士。朝の玄関は明るく元気な“おはよう”でいっぱいです。みんなで大きな声を出してあいさつすることで、保育士は子どもたちから元気なエネルギーをもらえ、子どもたちも友達や保育士と顔を見合わせて行うあいさつを喜び、笑顔で一日が始まっています。

※ののさま、おはようございます。今日も一日がんばります。ののさま、応援してください。

※ののさま…仏様



朝のおまいり

子どもたちは園の仏様に手を合わせ、声をそろえて元気いっぱいあいさつをしています。また、職員も子どもの幸せを願い、手を合わせています。

「今年の抱負・夢」

足羽福祉会

今年の抱負・夢

足羽東保育園編

★あなたの夢や抱負ってなに？

【子どもたち】

・スケート選手

「テレビで見てカッコいいから」

・靴屋さん

「みんなの靴、ピカピカにするの」

・長靴屋さん

「雨が降ったら長靴買ってそのまま遊びに行けるで」

・ケーキ屋さん

「みんながおいしそうに食べてくれるのを見るのがうれしいから」

【職員】

・計画を立てて行動

「継続は力なり」を指針にし、仕事が速やかに進むよう計画・実践する

・豊かな生活

仕事も遊びも思いっきりやり、毎日を大切にします

・早起き

心身共にゆとりを持って仕事ができるように

つくる楽しみ・できる喜び

—慣れ親しんだ畑仕事—

●畑作り

「きらく楽」利用者の方は、何らかの形で野菜作りや花作りを経験された方が多く、その方々から「また畑をしたい」という声が上がりました。そのため、畑で一から野菜を作る活動を行うことにしました。中庭の一角に、草だらけではありましたが畑として使えるような場所があったため、まずはそこを耕すことから始めました。利用者の方と職員で協力して、草取りや土作りを行い、作物が育てられる状態にまで耕しました。



最初は草だらけでした

●種まき

畑を耕し終えた後、調理に使えるような大根と白菜の種をまきました。その後の水や

りや苗の様子観察も、利用者の皆さんで協力してやっていたできました。

畑仕事中、畑に詳しい利用者の方から「苗が込んでいるから、もっとすぐらなあかんよ(注)」などのアドバイスを頂きました。その方に畑の先生になっていただき、順調に野菜を育てていくことができました。

(注)間引きをすること

●収穫そして調理

冬が近づき、大根と白菜が食べごろの大きさまで育ち、待ちに待った収穫の時期になりました。立派に育った野菜を見て、皆さんの顔がほころんでいました。

収穫後はその野菜を使い、豚汁を作りました。一から自分たちで作った野菜の味はまた格別なようで「うまいんやわー」と喜んで召し上がっていました。



立派な野菜がとれました

土と触れ合ったり、植物を育てるということは、気持ちの安定が穏やかになり、情緒の安定が図れます。しかも、利用者の方にとって慣れ親しんだ活動のため、皆さん生き生きと取り組んでくださいました。自分自身がこれまでできなかったことを、それが今でもできるということが、利用者の方の自信につながり生きがいになっていくと思います。そういった生きがいを皆さんに感じていただくことが、私たち職員の仕事であり喜びでもあります。

今後とも充実した活動を提供し、利用者の方の笑顔を引き出していただける支援を心がけたいです。

足羽利生苑

生活相談員 錦織 郁裕

「今年の抱負・夢」

足羽利生苑編

今年はどんなことを
したいですか？

利生苑の利用者の方に、今年は何のようなことをしたいかお聞きしました。その中のいくつかを紹介します。

●「いろいろなところへドライブに行きたい」

●「酒を飲みたい」

●「カラオケに行つてたくさん歌いたい」

●「昔のように民謡を踊ってみたい」

●「健康に過ごしたい」

●「本を読むのが好きだから、本をたくさん読みたい」

お話を聞いて、皆さんがしたいことがいろいろとわかりました。こういった気持ちが長生きの秘訣ではないかと感じました。

平成十九年十月一日から、市町村の地域生活支援事業のひとつである地域活動支援センター事業が、福井市の委託業務として開始されました。

この事業は、『就職を希望しているけど、どこへ相談して良いかわからない』『歳をとって体力はないが、いろいろな活動に参加してみたい』など、在宅にいる障害者の方で、日中の活動場所や出掛ける機会の少ない方に情報を提供し、サポートをさせていただく事業です。今回は、この事業の取り組みを紹介します。

活動場所

新たな事業である『地域活動支援センターあすわ』は、福井市成和の繊維会館三階を活動場所とし、日常生活から就労に関する相談、また利用者の方のニーズに合わせた生産活動を行っています。利用者の方の特性を考慮し、一人ひとりの要望に応じて活動しています。みなさんが生き生きとした時間を過ごせるような支援を心掛けています。

利用者の戸の状況

利用を希望された方の中には、一般企業に就労していて辞めてしまった方や、家にいることが多く外に出ることが苦手な方など、いろいろな悩みを持った方がいらっしやいます。相談支援を行いながら、一人ひとりのニーズを聞いて社会参加ができるよう一緒に活動をしています。現在では、十数名の方が登録・契約を済

地域で生き生き活動しよう 地域活動支援センターあすわ

ませて利用されています。

活動内容

例えば、地域活動支援センターに登録をしていて企業に就労を希望している方がいれば、足羽ワークセンターの作業場や分場、施設外で作業をしている利用者の方の様子を直接見ていただきます。そして、自分にできそうな作業から実習という形で取り組んでいただきます。その中で、利用者の方がどのような作業をしたいか、またどのような作業が向いているのか、コミュニケーションを取りながら個別に対応しています。



頑張って仕事をしている鈴木さん

余暇活動支援

作業ばかりではなく、創作活動や趣味の教室、休日の余暇支援にも力を入れています。創作活動では自分たちで食材を購入してお菓子やパンなど料理を作っています。食材や盛付け方など自分たちで工夫することによって、知識やマナーを身に付けることができます。コミュニケーションをとることが苦手な方でも少しずつ対話をする機会が増え、社会参加のきっかけにもなります。

利用者の方の中には、今までに参加したことなかったコンサートに出かけたり、た

今後の活動

事業を始めて三ヶ月が過ぎましたが、今後は事業所の職員だけで活動するのではなく、地域の方々にもボランティアや講師として一緒に活動していただき、地域活動支援センターあすわの利用者の方が地域で楽しく生活できるようにサービスを提供していきたいと思っています。

地域活動支援センターあすわのご案内

〒918-8239 福井市成和1丁目1009
開所時間…午前8時～午後7時半まで
活動日…月曜日～日曜日
(ただし、土日はレクリエーションのみ)
電話:0776-88-0001 FAX:0776-22-0553
どんなことでも気軽にご連絡下さい

「今年の抱負・夢」

足羽ワークセンター編

今年の目標



☆☆☆☆2008年の新年の夢や希望を、ワークセンターのみなさんに聞きました☆☆☆☆

・新しい家に住む！

職員T

・今している掃除の仕事を頑張る

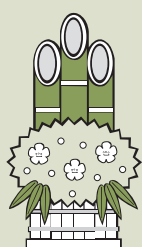
利用者・Sさん

・今年も元気に旅行にいけますように

利用者・Tさん

・自治会の会長として、そして男としてさらに謙虚に生きます

利用者・Nさん



自信へつながる介護

思いに耳をかたむけて

愛全園では、利用者の方一人ひとりに合った排泄介助を行っています。今回は、その取り組みと、利用者の方の変化を紹介します。

Aさんは入所された当初、昼夜共にオムツの中へ排泄していました。しかし現在、日中はポータブルトイレに座って排泄をしていただいています。

ポータブルトイレで排泄するようになったのは、Aさんからの「トイレに行きたい」という一言がきっかけでした。両膝が曲がって立つことが困難なため、体への負担も考慮し、最初はオムツの中への排泄が良いのではないかと考えていましたが、トイレに行きたいというAさんの希望をかなえたいと思い、ポータブルトイレで排泄していただくことになりました。



「辛いところはないですか？」毎回、Aさんに声を掛けます。

ベッド上でオムツを外し、職員二人で上半身と下半身を抱えてポータブルトイレに座ってもらいます。

ポータブルトイレに座るときで、腰やお尻の痛みを訴え「今日は止めておこうか」「長くなるのは嫌やよ」と言われることもありましたが、しかし、排泄後にナースコールを鳴らして教えてもらえるようになったことで早くに対応でき、す

ぐに休んでもらえるようになりました。「ありがとう、すつきりしたわ」と笑顔を見せてくださるようになり、「やっぱり気持ちがいいの。一回座るとしばらく大丈夫やと思つて安心なんや」と言われることもあります。

何度かポータブルトイレで排泄を行うにつれて、排泄以外でもAさんの様子に変化が見られるようになりました。

入所して間もないころは、Aさんから希望の訴えを聞くことは少なかつたのですが、今は「〇〇したい」「〇〇してほしい」など話していただけるようになってきたのです。フロアで過ごされていくときにも「トイレに行きた

いで連れて行つて」と声をかけてくださいます。また、表情も明るくなり、ポータブルトイレに座るときには職員と一緒に「よいしょ」と掛け声を掛けてくださいます。今では、毎食後とAさんからの希望があつたときに座ってもらっています。そのため、オムツ内の失禁が少なくなり、日中はポータブルトイレでの排尿が定着してきました。

今までは、立つことが困難だからオムツを当てる」と考えられがちでした。しかし、そうすることで利用者の方の気持ちを傷つけ、やる気をなくさせているのだと気づき、個人に合った排泄方法で支援することの大切さを感じました。Aさんの一言から「何かできないか」という職員の思いが生まれ、取り組みが始まりました。その結果、Aさんの自信になりその人らしい生活に近づくことができたのです。これからも、今回感じたことを生かし、一人ひとりに合った排泄方法を考えていきます。

愛全園編

『二年の計は元旦にあり。』皆さんの今年の目標をうかがってみました。

・少しでも健康で長生きしたいです。

（デイサービス利用者の方）



「私の目標は、健康です」

・去年みたいに、のんびりと過ごしたいね。それと、好きな絵を描いて過ごせたらいいと思う。

（入所利用者の方）

・今年も、音楽に携わりたい。好きなときに好きなだけピアノを弾けたらいいなと思う。

（入所利用者の方）



仲良くレクリエーション!!

みなさんは今まで障害のある方とふれ合ったことがありますか。また、そのときどのように感じられましたか。

今回は酒生小学校卒業生であり、昨年十一月に実習にいられていた堀田夕貴さんに足羽学園と酒生小学校との交流を通しての心の変化と福祉を目指すきっかけとなったお話を伺いました。

私が福祉の仕事を目指しているのは、足羽学園との交流が一つのきっかけになっています。酒生小学校に通っていたころ、足羽学園と毎年のように体育祭や集会、夏祭りなどたくさん交流をさせていただきました。

初めての交流のとき、利用者の方と接することに、正直なところ抵抗がありました。なぜかという、小学校低学年のとき、知的障害者の方に追いかけられた経験があった

からです。それ以来、怖いという思いから知的障害者の方と接することに抵抗を感じるようになりました。

しかし、今ではその方が私と遊んだり、話をしたかったのに、自分の思いを上手に表現できずに『追いかける』という形になったのではないかと思います。

それというのも、交流の中で私に特に影響を与えた出来事があったからです。

それは、酒生小学校から足羽学園の利用者の方と手をつないで、通る車の運転手に交通安全のマスコットを渡すという交流をしたときのことです。

マスコットを渡すためにつないでいる手を離したのですが、渡した後利用者の方から手をつないできてくれたことがあります。手渡すとき



に車道に近づくので、危ないと思って手をつないできてくれたのだと思いました。利用者の方の優しさが伝わってきた、とてもうれしかったことを今でも鮮明に覚えています。

この交流がきっかけとなり知的障害を持った方も私たちと同じように優しい気持ちを持つていた方がわかりました。そして、障害を持つ

た方のことを何も知らないのに一度の体験だけで怖いと思い込んでいた自分が少し恥ずかしくなりました。

私は足羽学園で実習をしていて、利用者の方の思いがわかったり、気持ち伝わったりすることにとても喜びを感じています。

これもひとえに知的障害の方への誤解を解き、福祉へ興味を持つきっかけとなった酒生小学校と足羽学園との交流のおかげだと思っています。こ

れからもずっと交流を続けていって、交流が心と心の掛け橋になってくれればと思います。

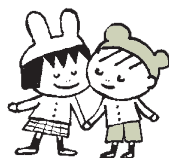


はり絵をもらったよ!!

専門学校ウエルフェア福井

堀田 夕貴

一般の方々が普通に生活している中では、障害のある方と直接かかわる機会はないかもしれないかもしれません。だからこそ、酒生小学校をはじめとする地域の方々との交流や社会参加を通して、障害のある方への理解や福祉に対して関心を持つていただけるように、出会いの場面をつくっていきたくと考えています。



「今年の抱負・夢」

足羽学園編

新年を迎えるにあたって、利用者の皆さんや、職員の皆さんに今年の目標を尋ねてみました。



【利用者さん】

- ・好き嫌いをなくすぞ!
- ・スポーツを頑張るぞ!
- ・アイーンをもっと上手になるっ!
- ・三角食べを頑張る〜!
- ・足羽学園を卒業したい!

【職員】

- ・何事にも一生懸命頑張りたい!
- ・M-1で優勝する(笑)
- ・新しい人生を模索する
- ・去年、挫折した腹筋・背筋を頑張る!

いろんな目標があるけれど、三日坊主にならないように頑張ろうね!



自然にかこまれたすてきな環境です

平成十八年四月より障害者自立支援法が施行されました。この法律は障害者の方々の地域で自立した生活を支援するために、制定されたものです。その中では、私たちが朝仕事に出かけ、夜は家に帰って生活をするように、障害者の方々も日中活動の場と居住の場を分けることの必要性があげられています。

現在、足羽更生園の利用者の方々は一日のほとんどを施設の中で過ごしています。障害者自立支援法の理念に基づき、園外における作業場所を設ける取り組みが始まり、このたび、福井市美山地区の旧羽生保育所の建物を借りし、「羽生の郷」を開所しました。今回はその開所式と活動の様子を紹介いたします。

開所式の様子

平成十九年十月十七日、暑いぐらいの好天に恵まれ、ほのぼのとした雰囲気の中、開所式は始まりました。

施設内では、利用者の方々クラブ活動の作品や季節の草花が壁面を飾り、参列の皆さまをお迎えしました。

ご来賓の羽生小学校長の井村氏より、「事前に訪問したときに、利用者の方より温かいもてなしや熱烈的歓迎の挨拶を受けて大変うれしかった。交流を深めていきたい」との温かいご祝辞をいただき、利用者の尾野克典さんは、喜びと決意をステージの上より堂々と表明しました。その後、玄関にて、利用者の田中馨さん



左から利用者の田中馨さん・理事長・園長

がテープカットを行いました。式後の作業風景見学では、利用者の方の取り組みの様子や頑張りにも感嘆の声が聞かれました。

多くの方々よりご支援とご協力をいただき、「住まい」と「日中活動」の場を分離した取り組みの新しい一歩を踏み出したことに心がおどる開所式となりました。

課長 柴田知恵子

さと
の郷」
で働こう～



喜びと決意を胸に…

利用者の方の思い

私たちは、毎日羽生の郷に行き、作業を頑張っています。バスに乗っての通勤や、おいしいお弁当もあり、毎日の活動が楽しみです。

これからも、この新しい作業場で、楽しく元気に活動をしていきたいと思っています。

(開所式での挨拶より)

利用者 尾野 克典

バスの中から外の景色を眺めながら羽生の郷に向かいます。作業は園内で行っていたものと同じくクリップの組み立てをしています。お弁当はいろいろとメニューがあつておいしいです。何でもできることを頑張っています。

利用者 田中 馨

足羽更生園編

＊今年の目標・やりたいこと＊

【利用者編】

「リハビリをして、健康になりたい」 Tさん

「温泉に行きたい」 Aさん

「お餅を5個、かまぼこ、数の子、水ようかん、煮豆、煮物を食べたい」 Oさん

「いっぱい買い物をしたい」 Yさん

「ミュージカルを見に行きたい」 Aさん

「家に帰ってたくさんお母さんのお手伝いをしたい」 Nさん



「今年の抱負・夢」

羽生の郷の様子

羽生の郷での活動が始まり三ヶ月が過ぎました。十五名の活動メンバーは、毎日の活動を楽しみにされているように、職員が出勤してくると「準備できたよ」と教えてくれています。

朝九時半出発、マイクロバスに揺られ、しばしのドライブを楽しみつつ、通っています。バスの中では「今日の弁当は何か」「電車は通らないか」と会話に花が咲いています。

お昼に美山地区の十二時を告げるメロディが流れると、作業の手を止めて、休憩室に向かいます。お弁当は最大の楽しみです、食べている途中ですでに「明日のお弁当は何?」



「お弁当」を前にニコリ笑顔◎

と聞いてこられるほどです。ケースに入った「お弁当」という物がとても特別な感じにして、大目の量でも、残すことなく食べています。

作業内容としては主に衣類をはさむクリップの組み立て、マット編み、空き缶つぶしを行っており、二つの部屋に分かれ落ち着いた環境で作業をしています。そのため特に集中力が必要とするマット編みでは、出来上がりが早くなりました。また職員が柄などの提案をすることもあり、作品の仕上がりが良くなっています。以前の園内での作業では、自分の仕事がなくなると、声を掛けられるまでも何とせずにいることが多かったのですが、羽生の郷では「仕事に來ている」という意識から、自ら仕事を探して、取り組めるよう

はにゅう 「羽生」 ～地域に出

になりました。

生活の場と作業の場が区別されたことと、落ち着いた環境が提供されたことにより、作業に集中でき、園で作業を行っていたとき以上に意欲的に、取り組まれています。

今後も、利用者の方と共に羽生の郷での活動を有意義なものにしていき、地域の中で元気に、楽しく取り組んでいきたいと思っています。そして、



クリップの組み立ては、とても力のいる仕事です

地域の皆さまにも気軽に尋ねて来ていただける場所になることを願っています。

作業担当 岡崎ゆかり



マット編み頑張っています！

私たちは「羽生の郷」の活動を通して、利用者の方々の「行ってきます」の声に「いつてらっしゃい」と送り出し、「帰りました」という充実した声に「お疲れ様でした」と迎え入れる、こうした「当たり前」の生活がとても大切であることを改めて学びました。現在は一部の利用者の方々だけの活動ですが、今後も少しずつ、地域の中での活動の場を増やしていきたいと考えています。

そして一人ひとりの利用者の方々の笑顔がもとと地域に広がっていくように取り組んでいきます。

「今年の抱負・夢」

【職員編】

「スカイダイビングをしたい
：というのはいもう歳なので
あきらめて、宅建の資格を
取りたい」 Sさん

「け・っ・こ・ん」 Nさん

「家族みんなでデイズニール
ンドに行きたい」 Nさん

「沖縄に旅行に行きたい」 Tさん

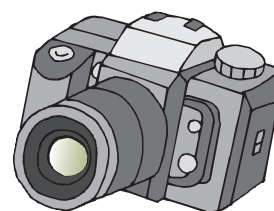
「時々逢う孫といっぱい楽し
いことをしたい」 Sさん

「近くの公園をきれいにする」 Yさん

「かわいい赤ちゃんを産みた
い」 Kさん&Mさん



アラカルト



大人気 フルーツランド

十月二十八日、日曜日に越前松島水族館と加賀フルーツランドに旅行へ行ってきました。

大好きなお父さん、お母さんと一緒にかわいらしいイルカやペンギンを見たり、真っ赤な色に熟したリンゴをたくさん採ってきたりして、大満足の日でした！



お父さんとVサイン!!



〔足羽学園〕

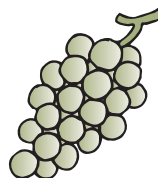


ほらっ見て!!大きいのがとれたよ!!

ふれあい書道展入賞

前号にて紹介した広島県安芸郡熊野町の「ふれあい書道展」にて、宮越さんは特選、山下さん・大島さん・近江さん・安達さん・尾野さんは敢闘賞をもらいました。クラブのメンバーの習字はエコバックやTシャツにプリントされ、いろいろなところで展示されました。今後もこのような活動を通して、地域の人と触れ合いを持つことで、それぞれ利用者の方の励みになればと考えています。

〔足羽更生園〕



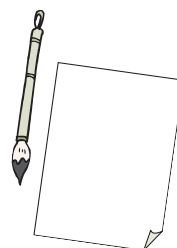
大きなぶどうです。「おいしそうでしょー」

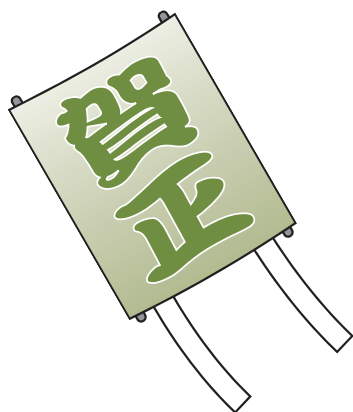
〔愛全園〕

十月、デイサービスの利用者さんと一緒に、野外外出に行ってきました。加賀にあるフルーツランドに出かけ、大きく実ったぶどうに大満足の日でした。



入賞おめでとうございます！





できごと



ほっかほかやね。おいしい!!

芋掘り交流で掘った
サツマイモを、くんた
ん焼き芋にしてみんな
で食べました。
「ほっかほかでおい
しいね。甘いね」「い
においやね」など、楽
しくおしゃべりしなが
らみんなで秋の味覚を
味わいました。



稲のモミ殻の中で焼き芋にします

〔足羽東保育園〕

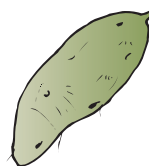


鮮やかな菊人形と一緒に

楽しい 芋掘り交流会



大きな芋を探しています!



十月十七日、足羽
東保育園で行われた
芋掘り交流会の様子
です。園児の皆さん
たちと楽しく活動で
きました!

〔足羽ワークセンター〕



いい花やわ～

ワクワク たけふ菊人形

十月、毎年恒例のた
けふ菊人形に行ってき
ました。
色とりどりの菊や迫
力満点の菊人形に、皆
さん「きれいやのー」
と感心していました。
「また来年も来たい
のー」と大変満足した
様子でした。

〔足羽利生苑〕

愛道を 読んで

講師の方よりいただきました

毎回楽しく読ませていただいています。表紙の写真の面白さに中を見てみようという気持ちにさせてくれます。読んでいると編集員の皆様のご苦勞が伝わってきます。

折り紙講師 松原 智子

私は足羽更生園に訪問させていただいているため、更生園の記事はいつも気になります。また、他の施設ではどのような活動が行われているか興味深く読ませてもらっています。

ちぎり絵講師 花木 容子

みんなの広場



敬称略させていただきました。



昔を思い出しながら「なつかしいわ〜」

こんな遊びはどうでしょう

● 宝引き ●

愛全園の利用者の方に、昔お正月にしていた遊びを教えてくださいました。

福井のお正月は雪も降って寒かったので、家の中で百人一首やおはじき、こま回しをしました。

一番楽しかったのは…

「宝引き（ほうびき）」

何本も束ねたひもの先に五円玉などの硬貨を当たりひも

として結び、ひもの先は「親」が隠します。

ひとりずつひもを引っ張り当たりが出たら「お宝」がもらえる、いわゆるくじ引きです。

昔は兄弟が多かったのですが、とても盛り上がりました。何度もやっているうちに、こっそり当たりのひもに目印を付ける子もいたとか。

今はポチ袋に入った紙のお金を楽しみにしている子どもさんがほとんどですが、昔は、お年玉をもらう行事も風情がありました。

風邪のどが痛いときには、大根のおろし汁が効果的です。コップ一杯のおろし汁に、はちみつを大さじ一杯混ぜて飲んでみてください。のどがすっきりすると思います。

これは大根のおろし汁にビタミンCがたくさん含まれているため、粘膜の炎症を鎮める働きがあるからです。はちみつにも同様の効果があり、加えることによって飲みやすくなります。

お手軽ですので、ぜひお試しください。

おばあちゃんの ちぎろ



のどの痛みに 大根のおろし汁

風邪の
きせつに
オススメ!!

ご協力 ありがとうございました

前号で男性物の衣類を募集しましたところ、すこやかシルバー病院で勤務されている藤田様、浄福寺の酒生耀子様他大勢の方より、男性物の衣類だけでなく、可愛らしい女の子の服や、いろんなサイズの衣類をたくさん寄贈していただきました。本当にありがとうございました。



年末・年始は何かとお酒を飲む機会が多いと思います。飲みすぎて二日酔いなんてこともありますが、度が過ぎたり、ある程度の栄養を摂らなければ、肝臓に負担がかかってしまいます。

そこで、お勧めしたいのが、お酒の席での『なべ料理』です。なべの種類にもよりますが、なべ料理にはいろいろな食材が入っていて、たくさんの栄養素を摂ることができます。

宴会での



肉や魚のタンパク質、野菜類のビタミンやミネラル、食物繊維などがあり、よく煮てあるので消化も良いです。また、タレにポン酢を使えば塩分が控えられ、酢がコレステロールを分解して、動脈硬化の予防に効果があります。なべ料理をたくさん食べれば、酒量を抑えられる（？）かもしれませんね。お酒の飲みすぎに注意して、健康に気をつけましょう。

徒然なるままに

経験を 生かして

もたちの成長や保護者の方の要望に答えられるような保育士になりたいと思います。

昨年十月、第二子を出産し、一年間の育児休暇を頂いた後、仕事に復帰しました。

今後は子育ての経験を丁寧

一人目を出産した八年前と今とは、国の制度や地域の子育て支援の多様さなど、いろいろなもの

が変わって驚かされています。

しかし、何といっても一番変わったのは私自身の「気持ち」でしょうか。八年前には全くなかった心の「ゆとり」を今は感じています。

一人目のときは赤ちゃんとのふれあいや育児の知識と経験が全くなく、どのように接したらいいかわからずオロオロしっぱなしでした。しかし、現在は保育の仕事で得た知識や愛情、感性で楽しみながら子育てができるようになりました。

Information

この「みんなの広場」では、皆様からの御意見、御感想をお待ちしております。宛先はこちらです。

足羽福祉会 愛道受付係
〒910-2178 福井市榑野町20-7
TEL (0776)41-3121

足羽東保育園
松原 恵子